地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院
心はひとつに

きらり

Heart to Heart Relationship

地域連携情報誌

vol.31
2021年7月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の
健康を支え、頼られる病院であり続けます

巻頭言

循環器内科 主任科部長（兼）
心臓血管センター 副センター長
角谷（かどたに）　誠（まこと）

我々循環器内科は心臓血管外科、放射線科及び麻酔科の医師、看護師、臨床工学技士、放射線技師、栄養士、理学療法士など様々な職種と連携をとりながら、ハートチームとして日々診療にあたっております。扱う疾患は急性心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、下肢閉塞性動脈硬化症や深部静脈血栓症などの末梢血管疾患や肺血栓塞栓症をはじめとする肺高血圧症、大動脈弁狭窄症や僧帽弁閉鎖不全といった弁膜症、心房細動や心室性頻拍症といった不整脈、成人先天性心疾患、難治性高血圧、心筋疾患など多岐にわたり心疾患全般を診療しております。これらの疾患をベースとした現在パンデミックと言われる高齢者心不全も数多く診療しております。いずれも検査や治療を施せば終わりではなく、そのあとの再発防止に向けた管理が非常に重要となり、チーム一丸となって取り組んでおります。

2018年５月から当院でも開始した経カテーテル大動脈弁留置術TAVIも右肩あがりで症例を伸ばし、2021年６月時点で83症例となり、今年中には100例を超えることとなります。2021年１月からは更なる低侵襲化を追求し、局所麻酔に鎮静・鎮痛剤を併用する監視下麻酔管理で３か所を穿刺するのみでTAVIを施行するようになり、さらに適応を拡大していく予定です。今後は重症僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療であるMitraClipの導入（現在申請中）や卵円孔開存に対するカテーテル治療の導入などを考えております。

様々な診断・治療ツールを駆使しチームでディスカッションしながら、患者さんひとりひとりに合った、よりよいテーラーメードな治療を提供していきます。それには我々だけではなく地域の先生方のご協力が欠かせません。コロナ禍でなかなか地域の先生方と直接顔を合わせてのお話などが困難な状況ですが、病病連携・病診連携をこれまで以上により積極的に行っていく必要があると考えております。当科での取り組みの一部をご一読いただければ幸いです。

当院循環器内科は今年度総勢25名（現時点では４名出向中）で患者さんの治療にあたります。各医師の専門分野を生かしながら、こどもからお年寄りまで幅広い年代の患者さんの治療に対応し、東播磨圏域の循環器内科医療に全力で貢献していきます。

医師氏名	卒年	役職	専門分野
大西 祥男	S58	理事長（兼）院長（兼） 教育支援センター センター長	不整脈
岡嶋 克則	H７	循環器内科 科部長	不整脈
中西 智之	H18	循環器内科 医長	不整脈
永松 裕一	H23	循環器内科 医長	不整脈
角谷 誠	H３	循環器内科 主任科部長（兼） 心臓血管センター 副センター長	虚血性心疾患　肺高血圧　末梢血管 心不全
NEW 澤田 隆弘	H13	循環器内科 科部長	虚血性心疾患　末梢血管　心不全
嘉悦 泰博	H14	循環器内科 科副部長	虚血性心疾患
寺尾 侑也	H18	循環器内科 医長	虚血性心疾患　末梢血管　心不全
NEW 松岡 庸一郎	H23	循環器内科 医長	虚血性心疾患　肺高血圧　末梢血管
白井 丈晶	H10	循環器内科 科部長	成人先天性心疾患
NEW 福田 旭伸	H18	循環器内科 医長	成人先天性心疾患　虚血性心疾患　心不全
下浦 広之	H21	循環器内科 医長	弁膜症　心不全
向井 淳	H23	循環器内科 医長	弁膜症　心不全
白木 里織	H10	循環器内科 科部長	高血圧
石川 雄一	S47	医療監	循環器全般
伊藤 達郎	H17	循環器内科 医長	循環器全般
米原 昇吾	H29	循環器内科 専攻医	循環器全般
松濱 考志	H29	循環器内科 専攻医	循環器全般
岡本 裕哉	H30	循環器内科 専攻医	循環器全般
上垣 陽介	H30	循環器内科 専攻医	循環器全般
坂元 美季	H30	循環器内科 専攻医	循環器全般
山本 真梨	H30	循環器内科 専攻医	循環器全般
飯田 圭輔	H31	循環器内科 専攻医	循環器全般
太田 毅	H31	循環器内科 専攻医	循環器全般
久保田 義朗	H31	循環器内科 専攻医	循環器全般

特集 Featured

循環器内科
―最先端治療の提供―

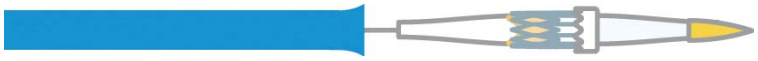
詳しくはホームページをご覧ください
加古川中央市民病院　循環器内科　検索

心臓構造インターベンション
Structure Heart Disease; SHD intervention

構造的心疾患（Structural Heart Disease）は冠動脈疾患とは異なり、弁膜症など心臓の構造的な異常に起因する器質的疾患のことです。

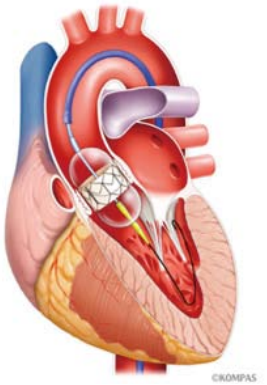
心房中隔欠損症など先天的心疾患もあるが、高齢化が進行するにつれ、加齢によって進行する大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症などの弁膜疾患が増加してきています。高齢化が進むにつれて外科手術のリスクが高くなれば、SHD（Structure Heart Disease）interventionを施行します。

TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）



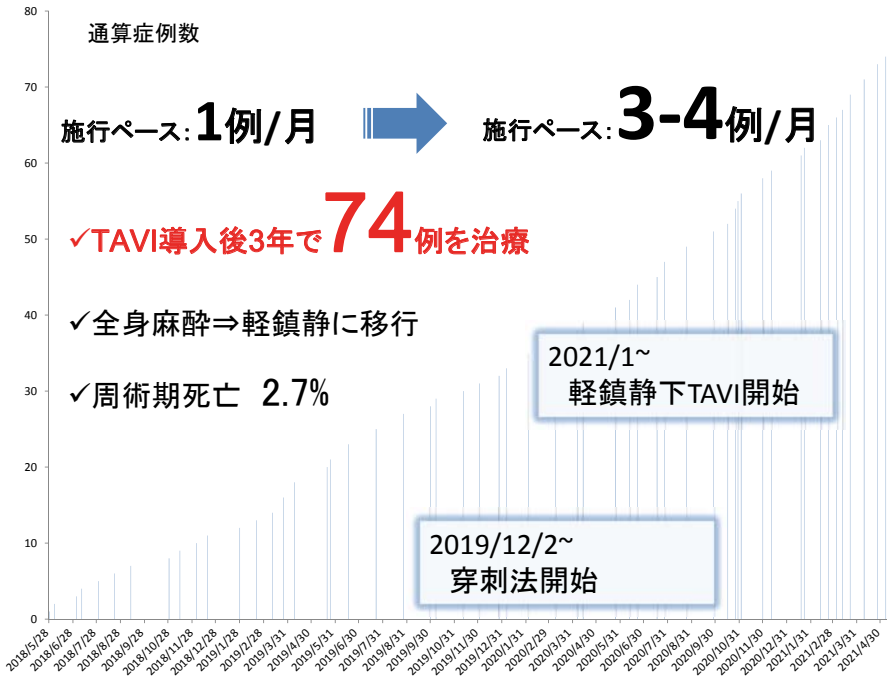
当院でも2018年からカテーテル式大動脈弁置換術（TAVI）を導入しています。2018年５月より治療開始し、当初は１か月に１症例のペースで実施しておりましたが、現在は症例数も増え月に３～４例となっております。

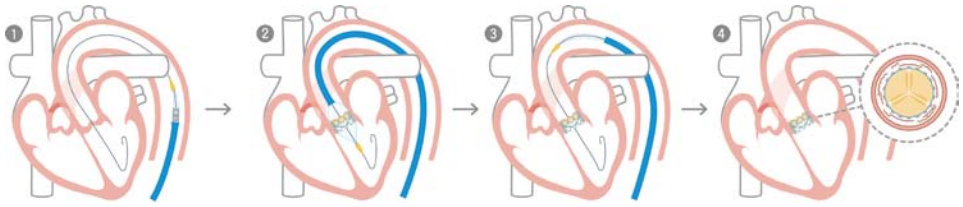
導入当初は全身麻酔下で行っていましたが、2019年12月より穿刺法、2021年１月から軽鎮静下（静脈麻酔＋局所麻酔）で行うようになっています。



出典（エドワーズライフサイエンス株式会社）https://www.heartvalves.com/jp/

TAVI症例件数（2018年5月～2021年4月）

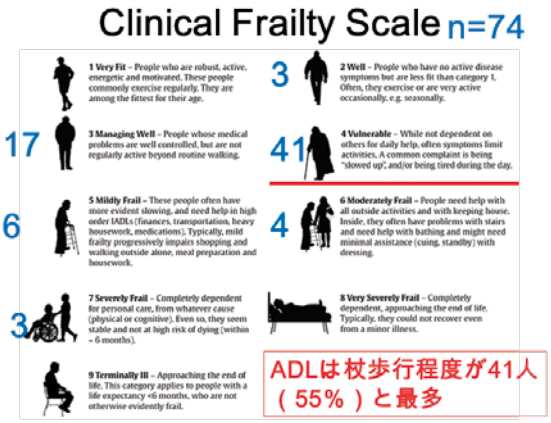




TAVIの対象は80歳以上ですが、当院では75歳以上の患者さんを対象としています。

TAVIは基本的に80歳以上を対象としていますが、現状では75歳以上の方の治療にTAVIを考慮しています。実施症例ではClinical Frailty Scale ４±１とフレイルが発生している患者さんが対象となっています。

年齢（才）	82.6±4.1 (68-90)
身長（cm）	151±10
体重（kg）	52.7±11
体表面積（cm²）	1.48±0.2
STS	5.7±4
Logistic EURO score	11.5±8
Clinical Frailty Scale	4±1



TAVIは、患者さんの体への負担が少なく、入院期間が短いことが特長です。

術後経過については、退院までの期間は10日程度で、大動脈弁置換術（開胸手術は約２～３週間）と比較しても、在院日数は圧倒的に短く、自宅退院も90%を超えている事から、患者さんにとっては低侵襲で行える治療であるといえます。

TAVI後退院までの日数	10.6±6 (最短5)
自宅退院	67 (90.5%)
リハビリ転院	7 (9.5%)

TAVIによる改善（実績）

最高血流速度 4.2±0.7→2.2 ±0.5(m/s)
平均圧格差　44.5±15→11.2 ±5(mmHG)
弁口面積 0.67±0.2→1.76 ±0.5 (mm2)
BNP　484±709→227 ±289(pg/ml)

TAVIはそのほかにも **①人工心肺装置を使わない ②胸を大きく開けなくてよい ③手術時間が短い ④早期の社会復帰が可能** という特長があります。心雑音が聴取される患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

地域への情報発信

末梢血管インターベンション（EVT）担当医変更のお知らせ

当院では、末梢血管疾患（PAD）（閉塞性動脈硬化症・重症虚血趾）の患者さんに対し、末梢血管内治療（以下EVT）を積極的に行い、治療にあたっています。2021年４月より、新たに澤田隆弘医師を迎え、下記３名の医師を中心にEVTを実施いたします。今後とも変わらぬご厚誼をどうかよろしくお願いいたします。

澤田　隆弘 科部長

日本内科学会総合内科
　専門医・認定医
日本循環器学会認定
　循環器専門医
日本心血管インターベンション
　治療学会専門医
日本経カテーテル
　心臓弁治療学会指導医
医学博士

寺尾　侑也 医長

日本内科学会総合内科
　専門医・指導医
日本循環器学会認定
　循環器専門医
経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会認定指導医
日本心血管インターベンション
　治療学会CVIT認定医
日本医師会認定産業医
医学博士

松岡　庸一郎 医長

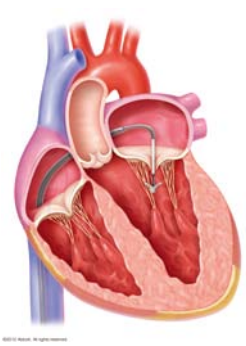
日本内科学会認定内科医
日本心血管インターベンション
　治療学会CVIT認定医

循環器領域の新たな治療

大動脈弁の他に、僧帽弁閉鎖不全に対する治療も開発されており、2018年４月より、MitraClip（マイトラクリップ）による僧帽弁接合不全修復術が始まっています。

経皮的にEdge to Edgeで形成するカテーテル治療です。大腿静脈アプローチで行い右心房へ、心房中隔をブロッケンブローし左心房に到達します。経食道エコーガイド下で僧帽弁を挟み込み、逆流を制御します。

自覚症状やQOLは優位に改善するため、今後当院でも導入していきます。それ以外にも卵円孔開存に対するカテーテル治療も導入していきたいと考えております。



Source:Abbott Medical

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

ファミリークリニック加古川

診療科：内科／小児科／外科

院長　朴 大昊 先生

この度、2021年５月にファミリークリニック加古川を開院しました、朴大昊（ぱくてほ）と申します。旧高嶋内科では、糖尿病を中心に広く内科疾患をカバーしていましたが、今後も地域の皆様に信頼されるファミリークリニックとして包括的、継続的な医療を展開してまいりたいと思っています。

私は元々兵庫県出身ですが、鳥取大学を卒業後、沖縄、鳥取で総合診療、家庭医療を専門に、地域のニーズに合わせて幅広く診療を行なってきました。

生活習慣病だけでなく、膠原病やアレルギー、認知症や老年症候群などの内科疾患、５歳～大人の予防接種や一般小児診療や小外科等にも対応します。また在宅医療にも力を入れており、麻薬の管理や中心静脈栄養をはじめ、柔軟に対応しますので、お気軽にお声掛けください。

まだまだ加古川の病診体制や医療・介護・福祉には疎い部分もありますが、幅の広い診療、地域に根ざした診療を目指して精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。

所在地：加古川市加古川町北在家2447
駐車場台数：20台

TEL.079-427-2200

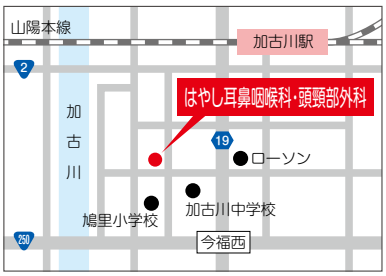
診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	－
午後 16:00～18:30	○	－	○	－	○	－	－

※火曜・木曜・土曜：午後休診　※日曜・祝日：休診

はやし耳鼻咽喉科・頭頸部外科

診療科：耳鼻咽喉科／頭頸部外科／アレルギー科

院長　林 一樹 先生



この度、私の地元である加古川に、耳鼻咽喉科・頭頸部外科を開院することができ、非常に嬉しく思っております。

私は、加古川東高等学校を経て、徳島大学および金沢大学にて、医師・歯科医師の２つの資格を取得しました。

これまで神戸市立医療センター中央市民病院や小倉記念病院で、頭頸部癌から人工内耳に至るまで、様々な耳鼻咽喉科領域の疾患について学んで参りました。これまで培った知識を用いて地域医療に貢献できるよう精一杯取り組んで参ります。

小さなお子様からご年配の方まで、皆さまが安心して通院できるクリニックを目指しておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

所在地：加古川市加古川町稲屋1-1
駐車場台数：24台

TEL.079-425-4133

※全ての診察時間で発熱者対応を行なっております。倦怠感の強い方や体温37.0℃以上の方には適宜PCR検査を行っております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:30～12:00	○	○	○	▲	○	○	－
午後 15:00～18:30	○	○	○	▲	○	★	－
予約診療 WEB予約	○	○	○	▲	○	★	－

休診日…日曜日・祝日
★…土曜の診療時間は、午前8:30～12:00　午後13:00～15:30
▲…木曜日の8:30～15:30は発熱外来および手術、特別予約外来

加古川中央市民病院
地域連携セミナーの御礼

昨年来、全国的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の第４波の影響により、本年も昨年に引き続き、残念ながら「地域連携会議」は中止させていただきました。

「地域連携会議」は、例年なら５月に開催させていただき、地域の医療・介護職の方々に直接お会いし、連携を深めさせていただく当院にとって極めて重要なイベントとなっております。ですので、Webを使用した「地域連携セミナー」を代替イベントとして、６月10日（木）に実施させていただきました。

当日はご多忙のところ、多職種の方に大勢参加していただきましたこと、ここに御礼申し上げます。ワクチン接種も進む中、来年こそは会場にて「地域連携会議」を実施したいと思っております。

今後も当院からの情報発信は広報誌「きらり」、ホームページを活用しながら積極的に行ってまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。

地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

患者支援センター地域連携室
予約専用 TEL.079-451-8651／FAX.079-451-8653
そ の 他 TEL.079-451-8652／FAX.079-451-8654
https://www.kakohp.jp/medical_person/